

WAP125およびWAP581をリブートして工場出荷時のデフォルト設定にリセットする

目的

ワイヤレスアクセスポイント(WAP)をリブートまたは再起動すると、揮発性メモリに保存されているログが削除されます。このプロセスは、設定の特定の変更でリブートが必要な場合、またはWAPが応答していない場合や、WAPが正常に起動している場合に実行されます。一方、WAPを工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ユーザが設定したすべての設定が消去され、デバイスが元の設定に戻ります。ほとんどのWAP設定を再設定する必要がある場合は、リセットすることをお勧めします。

この記事では、WAP125またはWAP581を工場出荷時のデフォルト設定にリブートおよびリセットする方法について説明します。

該当するデバイス

- WAP125
- WAP581

[Software Version]

- WAP125 - 1.0.0.3
- WAP581 - 1.0.0.4

ワイヤレスアクセスポイントのリブート

WAPをリブートするには、次の2つの方法があります。

- ハードウェアの再起動
- Webベースのユーティリティを使用したリブート

ハードウェアの再起動

デバイスハードウェアをリブートするには、次の2つの方法があります。

- デバイスが電源コンセントに接続されている間にPOWERボタンを押して、デバイスの電源を切ります。



注：[電源]ボタンは、デバイスが電源アダプタを使用している場合にのみ機能します。Power over Ethernet(PoE)を介して電力が供給されている場合は、イーサネット接続を3秒間切断してから再接続します。

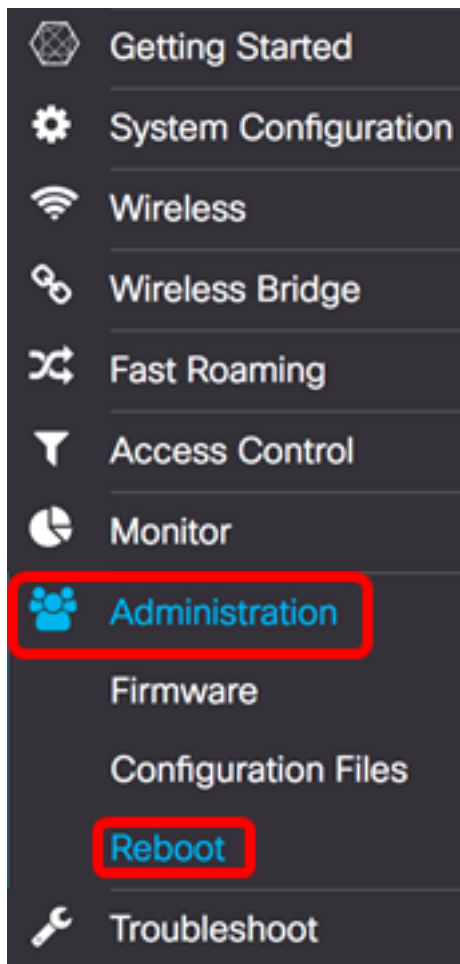
- リセットボタンを押すのはおよそ3秒間だけ、またはライトが消灯するまで。



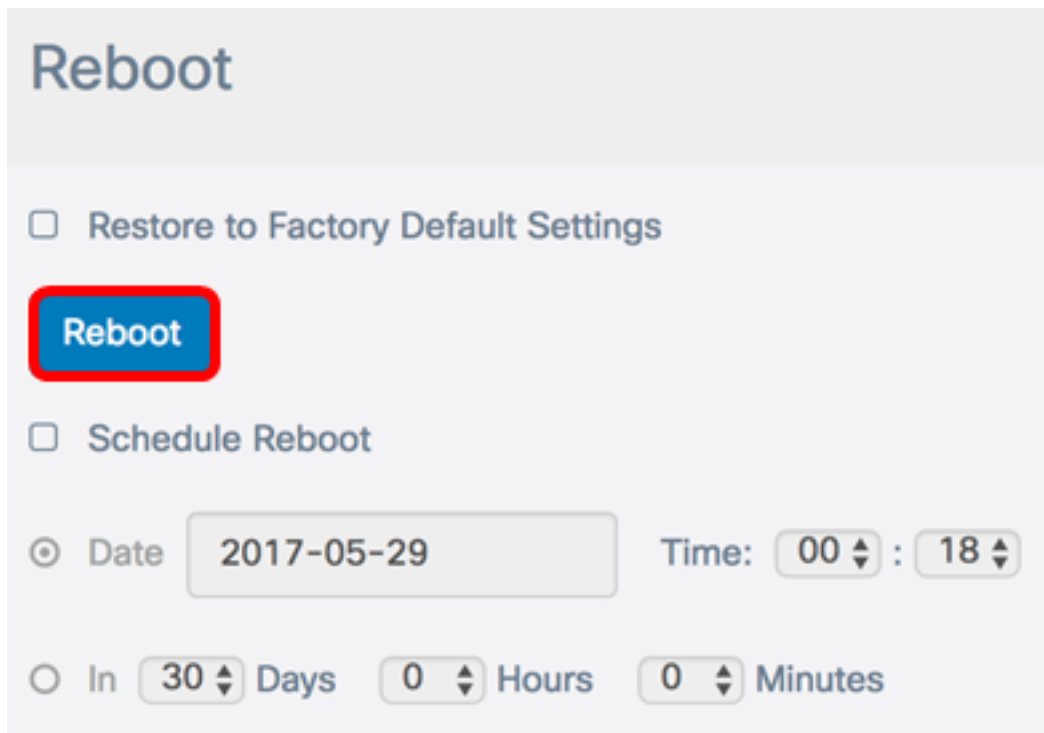
注：上記の両方の画像では、WAP125が図で示されています。

Webベースのユーティリティを使用したリブート

ステップ1:WAPのWebベースのユーティリティにログインし、[Administration] > [Reboot]を選択します。



ステップ2:[Reboot]ボタンをクリックします。



ステップ3 : 確認ウィンドウで[OK]をクリックします。

Confirm

×



This operation will reboot the device and disconnect your current session. Are you sure you want to continue?

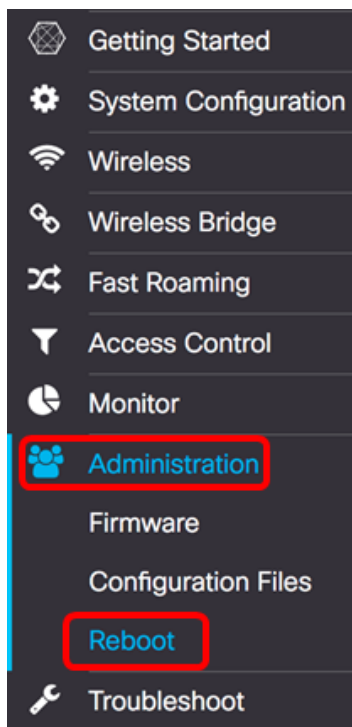
OK

cancel

これで、デバイスをリブートしたはずですが。

再起動のスケジュール

ステップ1: WAPのWebベースのユーティリティにログインし、[Administration] > [Reboot]を選択します。



ステップ2: スケジュール設定を構成するには、[スケジュールの再起動を有効にする]チェックボックスをオンにします。

Restore to Factory Default Settings

Reboot

Schedule Reboot

Date Time: :

In Days Hours Minutes

ステップ3:[Schedule Reboot]の下のオプションボタンを選択して、WAPがリブートする日付と時刻を決定します。次のオプションがあります。

- Date：リブートが発生する特定の日時を設定します。
- In：機能が設定された時点からリブートが発生するように設定します。これを選択した場合は、ステップ6に[進みます](#)。

注：この例では、[Date]が選択されています。

Restore to Factory Default Settings

Reboot

Schedule Reboot

Date Time: :

In Days Hours Minutes

ステップ4: (オプション) ステップ3で[Date]を選択した場合は、[Date]フィールドをクリックし、WAPをリブートする日付を選択します。

注：この例では、2017-06-07が選択されています。

Restore to Factory Default Settings

Reboot

Schedule Reboot

Date Time: :

In Days Hours Minutes

June 2017

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

ステップ5:[Time (時間)]領域で、それぞれのドロップダウンリストから時間と分を選択します。時刻形式は軍隊形式です。

注：この例では、WAPは2017年6月7日午前3時21分にリブートする予定です。

Restore to Factory Default Settings

Reboot

Schedule Reboot

Date Time: :

In Days Hours Minutes

[ステップ6:\(オプション\)](#)ステップ3で[In]を選択した場合は、[Days]ドロップダウンリストから、WAPがリブートする今日からの日数を選択します。

注：この例では、7が選択されています。

Restore to Factory Default Settings

Reboot

Schedule Reboot

Date Time: :

In Days Hours Minutes

ステップ7: (オプション) [Hours (時間)]ドロップダウンリストから、WAPがリブートする時刻を選択します。このオプションは、この処理を行う特定の時刻を設定する場合に便利です。

注：この例では、WAPは現在から7日後の午前3時にリブートするようにスケジュールされています。

Restore to Factory Default Settings

Reboot

Schedule Reboot

Date Time: :

In Days Hours Minutes

ステップ8: (オプション) [Minutes (分)]ドロップダウンリストから、WAPがリブートする時間の分を選択します。

注：この例では、0が選択されています。

Restore to Factory Default Settings

Reboot

Schedule Reboot

Date Time: :

In Days Hours Minutes

ステップ9:[Save]をクリックします。

これで、WAPをリブートするためのスケジュールが正常に設定されました。

ワイヤレスアクセスポイントのリセット

WAPを工場出荷時のデフォルト設定にリセットするには、次の2つの方法があります。

- ハードウェアリセット
- Webベースのユーティリティによるリセット

ハードウェアリセット

ステップ1：ライトが消灯するまで10秒以上リセットボタンを押します。



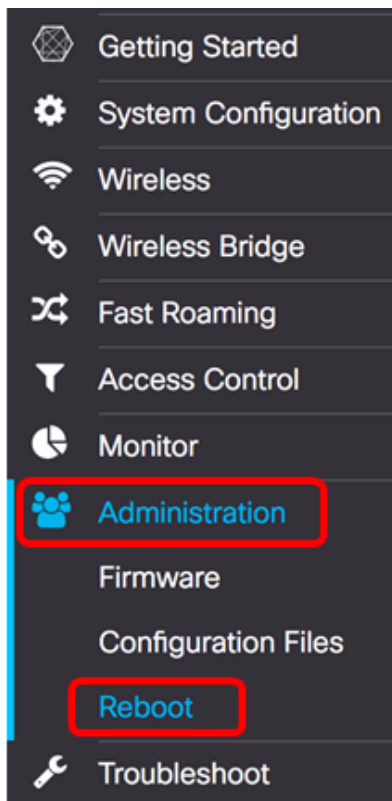
ステップ2：ライトがオンに戻ったら、リセットボタンを放します。



注：上記の両方の画像では、WAP125が図に示されています。

Webベースユーティリティを使用したリセット

ステップ1:WAPのWebベースのユーティリティにログインし、[Administration] > [Reboot]を選択します。



ステップ2:[Restore to Factory Default Settings]チェックボックスをオンにします。

Reboot

Restore to Factory Default Settings

Reboot

Schedule Reboot

Date Time: :

In Days Hours Minutes

ステップ3:[Reboot]ボタンをクリックします。

Reboot

Restore to Factory Default Settings

Reboot

Schedule Reboot

Date Time: :

In Days Hours Minutes

ステップ4 : 確認ウィンドウで[OK]をクリックします。

Confirm



This operation will restore the device to factory default settings and disconnect your current session. Are you sure you want to continue?

OK

cancel

これで、デバイスが工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。